

加茂小学校の

お米ぶろじえくと

農林水産課農林係 ☎ 25 1231 加茂小学校 ☎ 25 2919

鳥羽市では、農家の高齢化や農作物被害の増加により、農業離れが深刻化しています。こういった地域の課題について、子どもたち自ら農業について学び・考えるため、加茂小学校（5年生 27人）では総合学習の一環として、「お米ぶろじえくと」を行いました。

お米プロジェクトの取り組み

① 田植え（4・5月）

地元農家の中世古さんや上野さんに苗の植え方を教わりながら、丁寧に植えました。また、中世古さんのお家で農機具の体験をさせてもらったり、周囲の田んぼの見回りも実施しました。



② 管理（5～7月）

火曜日と木曜日の週2日、登校時と業間休みを利用して、水を出したり止めたりしました。「これをいつもやっているとんやなあ」と農家のかたの苦労を感じました。



③ 収穫（9月）

地元農家のかたがたに助けていただき、米の収穫を体験しました。昨年の体験を活かし、遠慮することなく、どんどん刈っていききました。

また、わらを乾燥させる「はさがけ」も体験しました。

④ 商品開発（9～11月）

農家やJAのかたと話をする中でわかった加茂地区の農業の課題について「収穫したお米を活用して解決しよう」と話し合い、

1 お米のよさを広げる

2 お米の料理を知ってもらう

3 加茂地区を盛り上げる

という活動の目的を設定し、それらを実現するために、加茂地区にある梅の家さん、藤じやさん、てらこやカフェさん、成瀬餅工房さんに、収穫したお米を使った商品の開発をお願いしました。

商品は、それぞれのお店のかたと話し合いながら、素材やトッピング、色合いなどを決めていきました。お店の歴史やお店への思いやこだわりなども教えていただき、販売に向けて、そうした思いも大切にしていけるように心がけました。



⑤ ギューとら販売（10月）

10月18日にギューとら鳥羽店にて、初めての五年商店を開催しました。あいにくの雨にも関わらず、多くのかたに来店いただき、約9分で完売するほど大盛況でした。初めての接客で、なかなか声をかけられない子もいましたが、お客さんの「ありがと」「がんばってね」の声に励まされました。



⑥ 市長へ取組発表（11月）

ギューとらでの販売を終え、「もつとお米のよさを広げたい」「買えなかった人たちがいたからもう一回やりたい」という子どもたちの声もあり、2回目の販売を行うことにしました。広報活動に協力していただこうと鳥羽市長を訪問し、取り組みをプレゼンテーションしました。





市長からは「協力しますー」という言葉をいただき、SNSを通じて宣伝活動が行われました。子どもたちは「市長さんにプレゼンができてよかった」「プレゼンで願いが通じてうれしかった」「優しい人で安心した」と振り返っていました。



⑦鳥羽マルシェ販売(12月)

12月6日に鳥羽マルシェで第2回五年商店を開催しました。商品数を増やし、多くのかたに喜んでもらえるよう工夫しました。また子どもたちのアイデアで、クリスマス仕様の商品を飾り、オリジナルステッカーも用意しました。当日は、開店前に長い行列ができるほど多くのかたに来店いただき大盛況となりました。今回は臨機応変に対応することができ、教室では学ぶことができないような貴重な経験ができました。

児童の感想

五年商店では、商品が完売でき、たくさんのお客さんが来てくれて目的が達成できました。また、この五年商店がきっかけで知らない人に自信を持って話しかけることができるようになりました。また、五年商店をやりたいです！
(川中 滯)



五年商店は、喉が少し痛かったけど大きな声でたくさん呼びかけができました。私は初対面の人と話す時、しどろもどろになってしまう時があるけど、説明したりすることができました。

米粉クッキーを配っていた時に、レシピも一緒に渡したので、お米の良さが伝わると思います。みんなと協力し合えたからできたんだと思います。
(岡 ひかり)



五年商店をして、1回目はすぐに完売して買えなかった人がたくさんいたけど、2回目では全員が商品を買えてよかったです。お米の良さを広めるという目的も達成できたと思います。私は、五年商店で接客の力が少しつきました。お客さんから「ありがとう」「すごいねえ」と言ってもらえてうれしかったです。
(中村 心優)



振り返って

これまでの取り組みの中で、子どもたちは農家のかたやお店のかた、市長をはじめとする市役所のかたなど、多くのかたがたとの出会いや対話(打ち合わせ、質疑、交渉、プレゼンなど)を繰り返してきました。27人がそれぞれに活躍したり、成長したりする場面がいくつもありました。また活動の一環である「五年商店」では、「わたしたちでもこんなに売ることができた！」という達成感とともに、子どもたち自身が成長を実感する様子も見られました。(担任 中村 寛治)

